

事業所における自己評価結果(公表)

公表 2022年 2月1日

事業所名 児童発達支援事業みらい

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動に支障はない
	②	職員の配置数は適切であるか	○		食事など時間によって増員が望ましい時あり
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・バリアフリーとしては、階段、トイレなど不十分な所あり ・必要に応じてパーテーション等を使用することで活動に集中できる環境作りを行っている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・足台等を使用することで、子どもたちが使用する際にスムーズになるようにできている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		振り返りやケース会議を定期的に行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		面談及び自己評価表を元に行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施状況は不明である
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ZOOM等を用いて研修の機会を設けることができている。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者と子どもと面接を行いアセスメントをしている
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達ガイドラインを元に支援内容を考えている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援を心がけている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月案を立てて支援にあたっている

支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	・見学や研修で学んだことを取り入れるようにしている。 ・発達段階にあった活動内容や季節に合った活動内容を考え、実施している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	作成できている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	前日までに話し合い、当日の朝に確認するように心掛けている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	定期的な振り返りはもちろん細かい日々の気付など共有に努めている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	必ず記入し、次の支援に繋げている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	行うように常に心掛けている
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	今年度はコロナウイルス感染予防の観点から実施できていない。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	子ども家庭支援センターの方と情報共有を行う場合がある。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	医療ケア児童が在籍していない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	医療ケア児童が在籍していない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者から希望される場合や気になる利用児において積極的に行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	情報共有を図っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	意欲的に参加するように心掛けている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	交流の機会を設けて、みらいについて知ってもらうよう準備している
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	今年度は参加できていない
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳などを通じて様子を伝えている
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	今年度は感染症対策でできていない	

非常時等の対応	㉔	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っている	○	説明している
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	同意を得ている
	㉖	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	必要に応じて面談を実施している
	㉗	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今年度は感染症対策でできていない。新型コロナウイルス流行の状況に伴い、保護者会などを行っていない
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切	○	対応できている
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している	○	必要に応じて広報を配布している。また、各利用者に1か月に1回活動の様子や今後のお知らせについて掲載した物を配布している
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意している	○	鍵付き書庫などを使用しながら管理している
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	行えている
非常時等の対応	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	今年度は感染症対策でできていない
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	契約時に渡している
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	半年に1回実施している
	㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○	調査票などを用いて行っている
	㊱	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	対応できている
	㊲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事務所内で共有できている
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	適切な対応ができています
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	説明している

保護者向け 児童発達支援自己評価表(公表)

別紙2

事業所名 児童発達支援事業 みらい

保護者等数(児童数)21名 回収数 18名 割合 85 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	0	1	1	教室も体育館も広々としていいと思います。	引き続き怪我のないように取り組んでいきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	6	1	1	・訓練(OT PT ST)が受けられないため。 ・職員の数が足りないのかなと感じる。(先生方いつも忙しそうだから) ・STさん等がいてくれたら…とは思いますが、何年も務めていらっしゃる先生が少なくなっていることに不安はある。	・専門職員配置も引き続き検討していきます。 ・法律で決められている職員配置数(児童発達支援管理責任者・資格取得職員2名)+加配職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適正になされているか	14	0	1	3	トイレがもう少し近いとよい。 身体的な障害ではないので、バリアフリー化が適切化の基準が難しい。	東京都所有の建物の1階のため、トイレの増設などに関しては相談が必要となってきます。また、気づいた点などありましたら事業所職員までお伝えください。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	0	・清潔に保たれている。	今後も清潔な環境で支援をしていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18	0	0	0	・子どもの課題を的確に分析されています。 ・子どもに合った支援計画を立ててください、とてもありがたいです。	支援計画を作成する前に必要に応じて会議を開催し、所属職員の意見を踏まえたうえで作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	3	設定されている。	今後も状態像に合わせながら、支援を行っていきます
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	1	1	手先の器用さを向上させるためにボタン練習等をしてきている。	引き続き児童発達支援計画に沿った支援を行っていきます。何かお気づきの点がありましたら、事業所職員へお問い合わせください
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	17	0	0	1	色々な活動を考えていただいています。	月間計画のほかに、定期的に活動の振り返りなどをする機会を設けることで活動プログラムが固定化しないようにしています
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	6	5	・みらい主体では無いような気がする。 ・コロナ禍はもちろん、以前もあるのかしりません。 ・並行で通っている子供との関わりかと思いました。	新型コロナウイルス感染防止の観点から交流は制限されていますが、落ち着いてきたら取り入れていけたらと考えています。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0	変更などあれば説明してくれている。	ご不明な点がございましたら、お気軽に事業所職員へお問い合わせください。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	0	0	1	半年に1度しっかりとした面談をしていただいている。	必要に応じて、面談はいつでも実施できますので、お気軽に事業所職員へお問合せください。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	6	5	2	5	・ペアレントトレーニングをやっていたきたいです。	勉強会なども少しずつ再開していきます。開催する際は、書面にてお知らせ致します。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができているか	17	0	0	1	いつも、丁寧に話してもらっている。	引き続き情報共有は大切にしていきます。ご相談は、お気軽にお問い合わせください。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3	0	0	コロナの前はあった。 今年度はコロナもあり厳しいように思う。	勉強会なども少しずつ再開していきます。開催する際は、書面にてお知らせ致します。
	⑮	父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	5	0	・他の保護者の方と交流する機会を作っていたけれど嬉しいです。 ・コロナの影響で仕方ない。 ・コロナ禍でイベント中止になっていたので「わからない」にしました。	家族連絡会や勉強会も少しずつ再開していきたいと考えています。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	0	0	1	こちらの要望を聞いていただけている。支援の中で色々と取り組んで下さり、分かりやすい。	小さなことでも、丁寧に対応していくことを今後も続けていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0	0	しっかり行えている。	連絡帳や紙面での配布をしております。メールなどでの配布も少しずつ取り入れることで情報共有がスムーズにできるように取り組んでいきます。
	⑱	定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	0	0	2	1か月毎の様子を紙にまとめて下さり、分かりやすい。	引き続き、日々の様子をご家庭にも伝わる取り組みをしていきます。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	17	0	0	1	しっかりと行えている。	鍵付きの書庫の設置や配付物のダブルチェックの徹底をして、個人情報の管理をしています。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	1	0	4	最近刃物を使った事件も増えているので、不審者の建物内への侵入があった時等の対処法など再告知していただくと安心感が増します。	自然災害や児童に関連するニュースが増えてきているため、発生を想定した訓練は活度王内で取り入れていきます。保護者の皆様に協力を依頼する際は、その都度ご連絡させていただきます。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	0	4	・訓練等はありません(保護者は)年間行事のお知らせで一度見ましたが、その様子を見ていないので「どちらでもない」にしています。	年2回は必ず避難訓練を実施しています。
満足度	㉚	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	1	・みらいに通所することをとても楽しみにしています。 ・前の晩から楽しみにしています。	引き続き、楽しみに通える環境を整えていきます。
	㉛	事業所の支援に満足しているか	18	0	0	0	・みらいと繋がっていることで気持ちが落ちつきやすくなります。	引き続き、情報共有を丁寧に実施するなど満足して頂ける事業所を目指していきます。

(注釈)

I「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです

II「児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標および達成時期、生活全般の室を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

III「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

IV「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して、障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方などを学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします

(保護者等の皆様へ)

〇この児童発達支援評価表は、児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「〇」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。